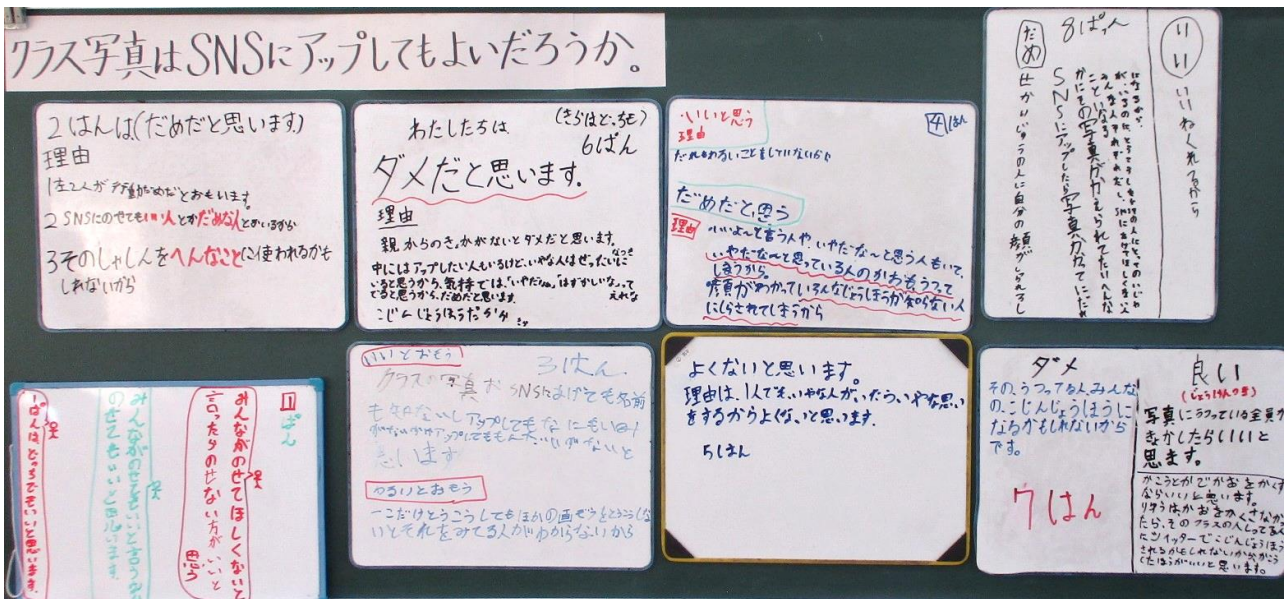


第4学年 特別の教科 道徳 学習指導案

- 1 主 題 相手の気持ちを考えよう 親切、思いやり B－(6)
- 2 資 料 名 クラス写真(自主教材)
- 3 ね ら い
 - ・ インターネット上で友だちに写真を送られるのが嫌だと感じる友だちの気持ちを知り、インターネット上でも相手の立場に立って考えることを大切にしようとする態度を育てる。
 - ・ 相手の気持ちを尊重し、誰もが嫌な気持ちにならないように行動しようとする意欲をもたせる。
- 4 人権教育の内容 人間関係の活性化 3－(2)－ア
- 5 展 開

学習活動	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点
1 コンビニの冷凍庫に入った写真は、なぜ大きな問題になったのか考える。	○なぜ大きな問題になったのだろう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 買い物に来た人が買えない。 ・ 食べ物のあるところに入ると汚い。 ・ アイスが潰れて買えなくなる。 ・ 他のお客や店の迷惑になっている。 	○ お店や見ている人に「迷惑」「不快感」を与えたことが問題であることを共通理解させる。
クラス写真は SNS にアップロードしてもよいだろうか。		
2 自分も映っているクラス写真をアップロードすることの是非を考え、グループで話し合う。 3 考えが変わったところ、納得した意見を中心に全体で共有する。	〈賛成派〉 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分は困らない。 ・ 誰にも迷惑がかからない。 ・ 写真に写っている人になら送ってもいい。 〈反対派〉 <ul style="list-style-type: none"> ・ アイコンにして知らない人に見られるのはだめだと思う。 ・ 自分で送るのはいいけど、他の人には送ってほしくない。 ・ 友だちが自分の写真を持っていると、勝手に他の人に送られそうでこわい。 ・ 犯罪に巻き込まれるかもしれない。 	○ SNS 上に公開する行為は写真を送る、アイコンにする等とする。
自分が写っている写真を SNS にアップロードされることをどう思いますか。		
4 自分の写真を送られることについて考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 映り方が気になるから勝手に送られるのは嫌だ。 ・ 友だちが持っている勝手に送られそうで嫌だ。 	○ 写真を送られたくない、見られたくないという人の意見に着目させ、嫌だと感じる人がいることを認識させる。 ○ 相手の人権を守るために、相手の立場になって考えることの重要性を確かめる。

SNS にアップすることの是非に関する児童の意見



授業を通して考えたこと、わかったこと

- 世界にはいろんな人がいて、許可を取ればOKという人もいれば、絶対に嫌という人もいるから、SNSや写真を投稿するのは、ちゃんと聞いてからした方がいい。
- どんなにいい写真でも、のせたら嫌だと思える人がいたらのせたらいけない。誰からも見えないところに送るのも嫌な思いになるから、だめだということ学びました。
- SNSを使って1人でも送ってほしくない人がいたら送らないでおこうと思いました。
- 嫌な思いをする人がいるなら、絶対に写真は送らない。
- 学校で使用しているタブレットで送るなら最初はいいと思っていた。でも、いい写真、悪い写真に関係なく、軽い気持ちで投稿したり送ったりしてはいけないということがよく分かった。
- 昔、SNSに動画を上げていたことがあって、SNSって楽しいと思っていたけど、ちょっとこわいところなんだなと思いました。

成果と課題

写真を送られたくないという児童の理由や気持ちに着目させ、嫌だと感じる人がどのような考えや気持ちで嫌だと思っているのかを感じさせることで、インターネット上でも人の気持ちに寄り添いじめを解消する取組につながったと考える。しかし、SNSの知識が低い児童は「こわいところ」「楽しいけれど変な人もいる」という一人称・他人事として捉えている児童が数名いた。正しい知識を得るとともに、現実世界と同様に「人に嫌な思いをさせてはいけない」という基準をもってインターネットを使えるように、様々な事例を自分自身に置き換えて考えさせていく必要がある。